



吉備中央町

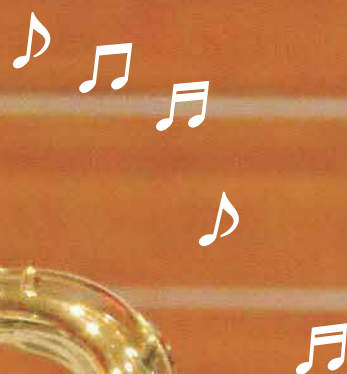
議会だより

第79号

令和7年10月20日発行
発行／岡山県吉備中央町議会
〒716-1192
岡山県加賀郡吉備中央町
豊野1-2
TEL.0866-54-2081
FAX.0866-54-1366
編集／議会広報編集委員会

響け!

希望のハーモニー



TOPICS

9月定例会	2
議員が町政を問う	5
議会全員研修報告	10

加賀中学校 笑輝祭文化の部 吹奏楽部

児童生徒が使用する 学習用タブレット端末を更新

9月定例会

9月定例会は、9月2日から9月19日まで18日間にわたって開かれました。

町長から条例改正、財産の取得、減額貸付、令和7年度一般会計、特別会計、及び上水道・下水道事業会計の決算認定、令和7年度一般会計及び特別会計の補正予算が上程されました。
決算認定の3議案は設置された決算特別委員会に付託され、その他の議案は審議の結果、原案どおり可決・承認されました。

一般会計補正予算

第2号補正予算は、歳入歳出それぞれ2億2492万7千円を追加し、総額127億8190万5千円。主な内容は、財政調整基金の積立金、農業用ため池の廃止、乗合タクシー運行業務の委託料など。

〈全会一致で可決〉

主な質疑

問 ため池廃止、町道支障木伐採はこの予算ですべての要望が完了か。

答 ため池廃止は尾原地内のか所が令和7年度と令和8

年度で実施。伐採は高速道路側道を実施。広域農道沿いの要望もある。



要望の多い支障木伐採

補正予算（第2号）の主な事業

財政調整基金費	令和6年度決算剰余金の1/2を積立	2億円
ため池廃止業務	農業用ため池廃止（1か所）の事業内容の変更	500万円
乗合タクシー運行業務	乗合タクシー運行業務委託料の増額	414万円
町道等支障木伐採業務	枯松等の交通支障木伐採の増額	200万円
災害対策費	全国瞬時警報システム（Jアラート）受信機の更新	349万円

※全国瞬時警報システム（Jアラート）とは…弾道ミサイル情報、緊急地震速報、大津波警報など、対処に時間的余裕がない事態に対する緊急情報を、告知放送により住民へ瞬時に伝送するシステム

条例改正（主なもの）

◎吉備中央町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険税条例にかかる徴収の特例（仮算定賦課）の廃止に伴い、普通徴収の納付回数を年6回から年9回に見直す。令和8年4月1日から施行。
〈全会一致で可決〉

主な質疑

問 国民健康保険税の納付回数が増えた理由は。

答 仮算定賦課をしない場合、第1期目が遅くなるため、現行から納付回数が減り、1期あたりの負担が大きくなるため。

◎吉備中央町消防団員条例の一部を改正する条例

町内の人口減少とともに消防団員の主力である青壮年世代の減少に伴い、団員の定数を430人から400人に改正する。令和7年10月1日から施行。
〈全会一致で可決〉

主な質疑

問 団員の減

少は今後も予想されるが、機能別の分団の設立、後方支援に特化した団員募集を検討するの。



団員募集中

答

今のところ、特別の機能を持った組織は考えていない。

財産の取得

取得する財産

学習用端末570台

取得の目的

吉備中央町立小中学校の児童生徒が使用する学習用タブレット端末570台の更新。

契約の相手方

学びの未来を共創するGIGAスクール整備共同体（金額3116万円）
〈全会一致で可決〉

主な質疑

問 ①共同購入総数②購入の財源③更新の時期④故障時の修繕対応

答 ①令和7年度は5万7180台②国庫補助金が2/3

③耐用年数は5年④町費で実施

財産の減額貸付

減額貸付する財産

旧竹荘中学校（土地・建物）

減額貸付する相手方

CIBITOKYO株式会社



新たな拠点として期待

減額の目的

利活用にあたり、必要な経費に充てるために減額。施設の長期的かつ安定的活用を図る。また継続的な事業活動を通じ、地域の活性化に寄与する。（減額後金額…年額120万円）
〈全会一致で可決〉

主な質疑

問 プロポーザル方式における条件設定の背景や目的の説明を。また、議会への説明や減額の根拠の説明が不足していたのではない。

答 施設の老朽化を鑑み、事業者が施設整備する場合には減額を可能とした。説明不足に関しては、反省している。

問 旧小学校活用に際して、地元活用の場合には条件が優遇されるのか。

答 地元と民間では当然違う。しっかりと考慮する。

問 環境保全については盛り込むのか。

答 事業者において、草刈りなど実施する内容を盛り込む。

同意事項

農業委員会委員の任命15人

固定資産評価審査委員の選任5人

〈全会一致で承認〉

農業委員会とは

農業委員会は、町内の農地を守り、農業を続けていくために設置されている独立した委員会。農地を売ったり貸したりする、また農地を住宅や資材置き場などに転用する場合には「農地法」などに基づき、農業委員会の許可や審査が必要。

農地が使われず荒れてしまうことのないように見守り、農地を必要とする担い手や新しく農業を始めた人にうまくつなげることも大切な役割。

委員は町議会の同意を得て任命され、地域の農業者の代表として活動しています。農地の相談窓口として、町民の皆さんにとっても身近な存在です。

固定資産評価 審査委員会とは

固定資産税は、土地や家やお店などの「評価額（価格）」をもとに計算。

「うちの土地の評価額が高すぎるのでは？」と思ったときに、再審査するのが固定資産評価審査委員会。

専門的な知識や経験を持った委員5人で構成されており、町長が議会の同意を得て選任。町の職員とは独立した立場で、納税者の皆さんからの申し立てを公平に審査。対象になるのは「税額」ではなく「評価額」であり、納税者の権利を守り、公平な税負担につなげる大切な役割を担っています。



議会だよりへの ご意見・ご感想をお寄せください

いつも「議会だより」をご覧いただき、ありがとうございます。
皆さまの声を紙面づくりやより身近な議会運営に活かしていくため、議会だよりに対するご意見・ご感想を募集しております。

01

★★★★★

わかりにくかった記事
はありませんか？

02

★★★★★

もっと詳しく知りたい
テーマはありますか？

03

★★★★★

こんなことを取り上げ
てほしい！



ご意見・ご感想の送り方 Mail : gikai@town.kibichuo.lg.jp

いただいたご意見は、議会だよりの改善に活用し、可能な範囲で紙面にてご紹介させていただきます。
皆さまからの貴重なご意見・ご感想を心よりお待ちしております。

まちづくり

- P7 渡邊 順子 閉校後の物品の管理取り扱い
- P8 我妻 瑛子 投票率向上の取り組み
- P9 日名 由香 小学校跡地利用
- P9 高森 学 吉備中央町愛歌



くらし

- P6 山崎 誠 PFAS汚染の積極的健康対策
- P8 平澤 一浩 砂防ダムの管理
- P8 我妻 瑛子 デジタル田園都市推進事業医療分野
- P9 高森 学 孤立を想定した実地訓練

子育て

- P6 河上真智子 子育て住宅整備
- P7 黒田 員米 教育・保育給付認定
- P8 平澤 一浩 RSウイルス対策ワクチン／通学路の草刈り



ふるさと納税

- P8 我妻 瑛子 ふるさと納税

一般質問

あなたはどの質問に注目しますか？

一般質問とは、議員ごとの視点で地域の課題や住民の声を取り上げ、町長の方針や見解、説明を求めるものです。（実際の質問順とは異なります。）

議会を傍聴しませんか？

本会議は一般に公開されていますので、誰でも自由に見たり、聴いたりすることができます。皆さんの日常生活に関係のある重要な問題が審議されています。町政をもっと知るために、議会の様子を傍聴してみませんか？

※当日傍聴席入口で、傍聴人名簿に住所・氏名などを記入するだけで、事前に予約する必要はありません。

Q PFAS健康影響 直接問診を

A 町民の声を聞きながら検討



やまき 山崎 まこと 誠

Q 5月18日におこなわれたPFAS健康影響調査の暫定報告会で、頼藤岡大教授の説明に疑義があり確認を求める。①飲水者1019人には常時飲んでい

る人だけでなく、一度でも飲んだ人も含まれているのか。②精巢がんの母数は男性のみか。③乳がんの発症率は男性と女性で違う。男性は女性の150分の1である。男女別々に集計しなければ正確な数字は出ないのでは。

A

塚田保健課長

①飲水者は一度でも飲んだ人は含まれている。②母数に女性も含んでいる。③暫定版なので男女合わせている。

Q

重要な健康影響調査なのに極めてずさんな報告である。最初の大規模被害が明らかになった米国オハイオ川周辺被害住

民のPFOA血中濃度の平均値は83ng/ml。近年明らかに上がったイタリヤ・ヴェネト州の平均値は65ng/mlとされている。公費血液検査の平均値は135・6ng/ml、円城地区に限ると平均値は171・9ng/mlと極めて高い数値である。長期にわたり健康影響、特に子どもへの影響が心配される。データだけに頼るのでなく、現地に入り飲水者を直接問診し、訴えや飲水状況を聞き取る本格的疫学調査を求める。

A

山本町長

①飲水者は一度でも飲んだ人は含まれている。②母数に女性も含んでいる。③暫定版なので男女合わせている。

他、アフタースクール事業を質問

Q 子育て住宅の整備は

A ニーズを含め検討中



かわかみ まちこ 河上真智子

Q 『子どもあふれる化プロジェクト』の提言から3年余りが経過した。唯一実現に至っていないのが「統合後の小学校の近くに一戸建て住宅を建設する」という項目である。進捗状況は。

A

大月建設課長

子育て世帯が住みたくなる住宅環境の整備は、重要な施策のひとつと考えている。子育て世帯が安心して生活できる住宅の提供ができるよう検討をおこなっている。

Q

出生数の減少により小学校の複式学級化や再統合の可能性がある。児童数のバランスを考慮した設置場所の選定は検討されているのか。

A

建設課長

建設する場所の選定は重要である。通園通学しやすい立地はニーズが高いと考え、さまざまな条件を含め検討したい。

他、慰霊碑の管理、ACPを質問



くみただ かずまさ
黒田 貢米

Q 入園希望者への対応は

A 希望者の想いに寄り添う



パパ大好き

入園の申請は、入園2か月前の1～10日を利用調整期間として受

他、PFAS問題、小
学校の閉校・統合を質
問

ただし、申請が入園希望日の1か月前を過ぎても、希望者に寄り添った聞き取りの上、調査をおこなう。特別な事情には、柔軟に対応する。

入園希望者には家庭事情を含め丁寧な聞き取りをおこなう。町立認定こども園条例に基づき就労・疾病・出産など10項目の要件と証明書類により保育の必要性を判定する。その後、入園の必要性を点数化し最終的に保育の認定許可をおこなう。

A 片山子育て推進課長

希望者に寄り添った教育・保育給付認定ができています。希望者に寄り添う。さらに事情がある場合には、入園1か月前の1日までに入園申請の受付締切日とする。令和7年4月から、安全かつ確実にこども園で受け入れできるように締切日を明確化した。

Q 閉校小学校の備品処分は

A 準備でき次第、順次実施

わたなべ じゅんこ
渡邊 順子

有効活用を

A 山本総務課長

8月29日午前

中に2施設、午後から3施設で実施。役場内の各課、各公立こども園、各公民館に加え、

は、最初について、この関係機関がおこなったのか。また、校舎内に土足で入ったの実施は、あまりにも失礼ではなかったのか。

A 総務課長

自治会を対象として、順次実施していく。時期や方法は、準備が整い次第、自治会長へ通知予定。その後は、町民を対象に競売を実施し、払い下げをおこなう予定。最終的には、費用対効果などを考慮し、さまざまな処分方法を考え、検討していく。

今後の予定は。

ふたば認定こども園、おかやま希望学園、吉備高原学園高校も同様の対応をおこなった。土足での入室に関しては、配慮が足りず心よりお詫び申し上げる。以後改善に努め、実施していく。

Q 砂防堰堤の管理状況は

A 土砂流出の危険性はない



ひらさわ かずひろ
平澤 一浩

Q 砂防堰堤の維持管理、県と町の連携体制は。

A 大月建設課長
砂防堰堤（63か所）の維持管理事業をおこなうにあたり、

県と町の連携が非常に重要。県が堰堤の定期的な点検や修繕をおこなう。町は現場の状況や地元の声を県に届ける。



点検異常なし！

Q RSウイルス対策に対する町の認識は。

A 塚田保健課長
RSウイルス

により引き起こされる急性呼吸器感染症。2歳までには、ほとんど

の乳幼児がRSウイルスに感染すると言われている。生後6か月未満では重症化しやすい、肺炎などの重い呼吸器症状を起こすため、生後早期からの予防対策が必要。

Q 町としての対応方針は。

A 保健課長
定期接種に向けてワクチンなどに関する有効性、安全性など、議論がおこなわれている段階。国や他自治体の動向に注視していく。

Q 通学路の草刈りの時期は。

A 中山教育委員会事務局長
管轄する道路管理者と協議をおこないながら、1学期を含め適切な時期におこなえるように検討。

Q 特に危険であれば、早いうちに対応していく。

A 山本町長
特に危険であれば、早いうちに対応していく。

Q ふるさと納税、今後の対応は

A 反省すべき点があった



あつま えいこ
我妻 瑛子

Q ふるさと納税への今後の対応は。経緯、問題点の洗い出し、総括とその公表が必要ではないか。

A 山本町長
町にも反省すべき点があったと認識している。組織を作って見つめなおしていきたい。

Q 投票率向上のための取り組み

A 参院選挙、町の投票率は55・9%で県内町村においては最低（町村平均投票率60・4%）。近隣自治体との開きは何らかの対応が求められていると考える。投票所数の推移は。

Q 参院選挙、町の投票率は55・9%で県内町村においては最低（町村平均投票率60・4%）。近隣自治体との開きは何らかの対応が求められていると考える。投票所数の推移は。

A 山本総務課長

	賀陽	加茂川
40年前	10	13
20年前	11	7
現在	10	6

Q デジ田事業医療分野

A 町は、救急搬送時に搬送者の医療情報を読み取るための共通診察券の開発と普及に取り組んできた。一方、10月から同様の機能を持った、マイナ救急（マイナ保険証を利用するもの）が全国的に開始される。どちらが利用されるのか。

Q デジ田事業のデータ連携基盤と、国で進められている全国医療情報プラットフォームの整合性は。

A 大櫻企画課長
救急搬送時、どちらも利用される。

Q 共通診察券とマイナ救急、ウィラバと電子版母子健康手帳など、一部重複する可能性があることは認識している。

A 企画課長

他、PFAS汚染対策を質問



日名 ゆか

Q

学校跡地の利活用のビジョンは

A

地域の声を最優先

Q

令和7年度予算で設計費が計上されている津賀小・下竹荘小の跡地活用の整備・移転計画の進捗状況は。

また、今後のスケジュールは。

A

岡崎加茂川総合事務所長
答弁は別表のとおり。

他、防災関連を質問

	用途予定	進捗状況	今後のスケジュール
旧津賀小	加茂川総合事務所 定住促進課 津賀公民館 加茂川図書館 など	設計業者と連携し、事務所の配置や動線を検討中。 荷重強度を確認のため、耐力度調査を実施中。	令和8年度 施設改修工事 令和9年度中に移転
旧下竹荘小	教育委員会事務局 公営塾「Kii+」 社会福祉協議会 など	施設改修の実施設計業務を委託し、設計業者と協議中。	令和8年度 施設改修工事 令和9年度 4月より使用予定

Q

吉備中央町愛歌で町のPRを

A

地域イベントでの活用

たかもり まなぶ
高森 学

Q

地元の方が作詞された「吉備中央町愛歌」をご当地ソングとしてPRできないか。

A

山本町長

地域の文化や歴史をしっかりと感じさせる要素がふんだんに含まれているが、町の歌として位置付けることは難しい。民間発信として、ぜひ町民の方に愛着を深めていただきたい。また公民館事業や地域のイベントなどで、町もしっかりと盛り上げて活用していくとともに、吉備中央町の良さを広げてい

Q

きたい。また子どもたちに郷土愛をもってもらえるよう、活用を考えていきたい。

A

大規模な災害による孤立を想定した実地訓練の予定はあるのか。

A

町長

吉備中央町は土砂災害の危険度が一番高いと思う。現場での訓練はぜひやるべきであり、訓練でできないものは現実にはできない。訓練を計画してやっていきたい。

他、防災庁の誘致を質問



一度聴いてみて



吉備中央町愛歌

議会全員研修報告

国へ支援を求めて

総務省及び農林水産省を訪問し、陳情書・要望書の提出や意見交換をおこないました。また、埼玉県宮代町では農を活かしたまちづくりの取り組みを学び、埼玉県防災学習センターでは防災への理解を深める体験研修をおこないました。



ふるさと米で総務省へ陳情

8月27日、ふるさとと納税制度に関して、所管の総務省へ対し陳情をおこなった。

会場は衆議院議員会館会議室で10時から約1時間。総務省からは市町村税課長と担当者の2人が出席。西山議長から議会の「陳情書」を議長に提出。



2年間ふるさとと納税指定団体の取り消し処分を受けたことを、議会としても真摯に受け止めることを表明。その上で、農業を取り巻く厳しい現状を説明し、平成26年から始まったふるさと米返礼事業が、米作り農家の経営維持に一定の寄与したことを訴えた。

総務省より「ふるさとと納税制度の本旨」「ルール重視の事業運営」「返礼率3割以内と法で規定」「寄附金は財源として利用できる自治体応援制度」などの説明があった。意見交換のなかで、返礼品にお米を扱っている全国の自治体は約1700団体中、約1200団体。返礼率は20～30%であるとの回答があった。議会からの陳情は全文を下記に掲載。

ふるさとと納税制度に関する陳情書

税収格差を是正し、ふるさとへ貢献する仕組みとして始まった「ふるさと納税」は、寄附者が応援したい地域の力となり、自治体は寄附者の「想い」に応えられる施策の向上を図ることで、地方創生の一端を担う大きな意義のある制度です。

吉備中央町では、ふるさと納税の取り組みとして、特産品の果物に平成26年からは町内産のコシヒカリを返礼品に加えたところ、多くの皆様から好評いただき納税額も増えて順調に推移して参りました。

しかし、今年に入り農家への奨励金を返礼品である「ふるさと米」の調達費用に含めると返礼率が3割を超えとの指摘を受け、本年6月17日から2年間、ふるさと納税指定団体の取り消し処分を受けました。処分は真摯に受け止めております。ただ、本制度を活用した「米作り農家応援」は、農業立町を町是とする当町の生産農家にとって、持続可能な農業経営の希望の光であったことは間違いありません。

この取り組みにより、人口減少や高齢化の中で担い手が減りつつある中山間地域の農家を応援するため、農機具購入や草刈りの支援、特産品の栽培奨励、有害鳥獣対策等、農業振興を図り、離農や耕作放棄地の拡大を食い止めるためのきめ細やかな施策を進めておりました。また事業の財源としてだけではなく、自分たちが作った米がおいしいと言って食べてもらえる、そして応援の声が、あと少し農業を続ける力になるというものでした。

本制度を所管する御省にあっては、財政的にも人材的にも疲弊する中山間過疎地域の再生、創生のため、それぞれの地域の実情を充分ご理解いただき、適切なお助言とご指導をいただけるよう陳情致します。

令和7年8月27日

総務大臣 村上 誠一郎 様

岡山県加賀郡吉備中央町議会 議長 西山宗弘

中山間地域農業の支援を農林水産省へ要望

総務省陳情に続いて、農林水産省へ「中山間地域農業の持続と発展に向けた支援・施策の強化について」要望をおこなった。会場は同じ会議室で11時から約1時間。

農林水産省からは、農村政策部地域振興課の課長、専門官、担当者の17人が出席。

議長から「要望書」を課長に提出。農林水産省より、「中山間地域は日本全体の4割」「農地の多面的機能の重要性」「過疎に応じた補助率の加算」など、中山間地域における農業の現状と施策の説明を受けた。

その後、要望事項に対し各専門官、担当者から一つひとつ丁寧な説明があった。議会からの要望事項は全文を下記掲載。



中山間地域農業の持続と発展に向けた支援・施策の強化について（要望）

私たちの吉備中央町は、岡山県のほぼ中央、吉備高原に位置しており、人口約10,000人、人口減少、少子化・高齢化が顕著に進む中山間地域特有の町であります。

町の基幹産業は農業であり、農業生産人口は約2,400人、農家高齢化率は80%を超えており、その大半の高齢専業農家によって約1,000haの水稲が作付けられています。

これまでの町内の稲作農家は、米価の低迷に加え生産コストの上昇や、後継者不足など、営農継続が困難な状況に直面してきました。

加えて、今日、集落機能の低下や、経営難による個人農家の営農意欲減退が見受けられ、今後、農業離れが急速に進行する恐れがあり、早急な行政対応が必要です。

つきましては、私たちの町のような中山間地域の非常に厳しい現状を踏まえた農業の持続と発展に向けた支援と施策の強化について、下記のとおり強く要望します。

1. 中山間地域農業の支援強化に関すること

①農業経営の安定対策

- 農業所得の補償による支援
- 集落営農組織の維持に向けた支援
- 担い手の確保対策
- 小規模農家向け施策の展開

②中山間地域等直接支払制度の見直し

- 各自治体や地域の現状、意向の十分な確認
- 小規模農家に即した制度内容の見直し

2. 持続可能な稲作経営への支援強化に関すること

①稲作経営の安定対策

- 農機具購入費の上昇及び生産資材の高騰に対する早急対策
- 米価の安定・維持対策（需給バランスの効率化）

②地域計画に位置付けられた稲作担い手農家への支援

- 条件不利地域の実情に即した農地の集積・集約化支援
- 条件不利地域の実情に即した農業生産基盤の強化
- 条件不利地域の実情に即したスマート農業の推進
- 小規模農家向けの安定で効率的な生産体制の構築

令和7年8月27日

農林水産大臣 小泉 進次郎 様

岡山県加賀郡吉備中央町議会 議長 西山 宗弘

埼玉県宮代町と埼玉県防災学習センターを 視察研修

埼玉県宮代町「新しい村」

①目的

埼玉県宮代町にある「新しい村」は、農業・観光・地域の交流拠点施設として運営されています。吉備中央町でも、人口減少や高齢化が進む中で、地域資源を活かした持続可能なまちづくりを進めるため、その仕組みや工夫を学ぶことを目的としました。

②「新しい村」の取り組み

「新しい村」では、直売所やレストラン、農業体験などを通じて多くの人を呼び込んでいる施策を学びました。また、国の補助を受けながら、新規就農支援などを通じて、農業に携わる人材確保や行政、圃場の提供者である地域住民との多年度にわたる支援体制を学ぶことができました。関係人口をいかに増やすのか、「畑 de 婚活」というような取り組みにも力を入れていました。

③吉備中央町に活かすために

吉備中央町においても、豊かな自然や特産品は大きな強みです。「新しい村」のように、町内外の人が集まる仕組みをつくることで、持続可能な中山間地域における農業体制が作られていくと考えます。

埼玉県宮代町

総人口：約33,000人



宮代町
公式サイト



伝統農法「ほっつけ」を学ぶ



宮代町議長と一緒に

埼玉県防災学習センター

埼玉県防災学習センター「そなえ」は、災害に強い地域づくりのために整備された施設で、地震や暴風など災害時の対処方法を体験・学習することができます。子どもから高齢者まで幅広い世代が訪れ、防災を“体で感じる”ことができる場所です。

館内では、震度7の揺れを再現する地震、台風並みの強風、火災時の煙の中を避難する体験などを実際におこないました。体感を通して、避難時の行動の難しさと重要性を学びました。

防災学習というと「難しい」と感じがちですが、「そなえ」では楽しみながら学べる工夫が随所に見られました。防災を特別なことではなく日常の延長として捉えてもらえるように設計されており、自然に防災意識を高めていく仕組みになっています。

今回の研修を通じて、改めて「防災は知識だけではなく、体験を通じてこそ行動につながる」ということを実感しました。

防災は誰にとっても大切な課題です。いざという時に自分や家族を守れるように、日頃から「備え」を意識して生活の中に取り入れていくことが重要。今回の学びを、地域活動に生かし、住民の皆さんと一緒に“災害に強い吉備中央町”を築いていきたいと感じました。



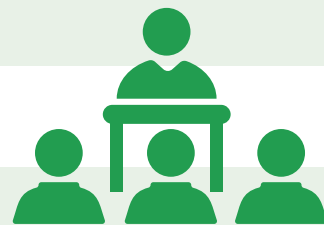
震度7を体感

町政への意見や要望があるときは 町議会に請願や陳情することができます。

請願・陳情とは

請願とは、日本国憲法第16条に規定された国民の権利の一つで、国または地方公共団体の機関に対して文書により意見や要望を申し述べることをいいます。請願を提出するには、紹介議員が必要になります。

陳情とは、国または地方公共団体の機関に対し、一定の事項についてその実情を訴え適切な措置を願い出ることを行います。請願とは異なり法的な権利はなく、提出する際にも紹介議員は必要ありません。



請願書・陳情書のながれ

提出期限：議会運営委員会の前日（閉庁日のときはその前日）

提出先：吉備中央町議会議長あてに「吉備中央町役場の議会事務局」へ提出

提出後、委員会に付託され、調査・審査がおこなわれます。
委員会の調査結果をもとに、本議会にて採決がはかられます。

採択された場合、行政へ措置の要請や参考意見として取り扱われます。

請願



皆さんの声が議会に届き、

より良い吉備中央町づくりにつながります。

陳情



議会と一緒に問題を解決しよう！

集いの場のご紹介

にこにこ茶屋（下加茂）・ひだまりカフェ（豊野）



季節の彩り

参加者の一人は「週に一度みんなと話せるのが広がります。」

魅力のひとつは、利用者が方が毎回持ってきてくださる「お花」。テーブルに飾られると会場全体がぱっと華やき、季節の移ろいを感じさせてくれます。「今日はどんなお花が並ぶのかな」と楽しみにされる方も多く、花をきっかけに自然と会話も広がります。



地域でつくる安心の輪

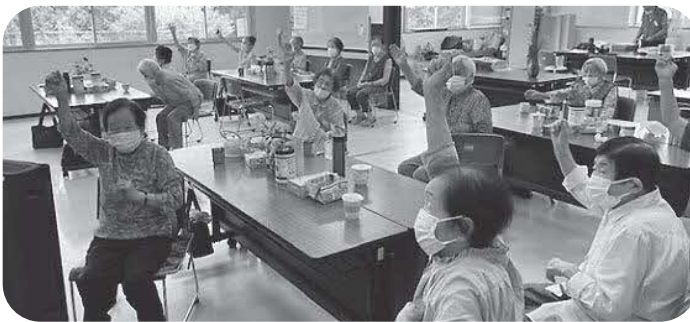
花と笑顔にあふれる「にこにこ茶屋」は、地域の心と元気を届ける大切な場所です。

下加茂地区で毎週火曜日に開かれている「にこにこ茶屋」。会場にはほっとするような笑い声が広がり、居心地のよさを感じられます。

リポーター
日名議員

「何より楽しい」と話してくれました。日常の出来事から健康のことまで話題は尽きず、笑顔でおしゃべりしているうちに時間はあっという間に過ぎます。人とのつながりが元気を与え、安心や生きがいにつながっています。

この日は岡山北警察署の方が訪れ、特殊詐欺の最新手口の具体的な事例を交えてお話がありました。電話やメールを使った巧妙な方法やキャッシュカードを狙うケースなど、実際に起きた被害を聞き、参加者は「自分の身にも起こり得る」と真剣に耳を傾けていました。



元気にリズム体操

小高い丘にある社会福祉協議会しらせ事業所の隣にある生きがい支援センターで、毎週火曜日に開催されている「ひだまりカフェ」を紹介し

リポーター
高森議員

ます。

この日は「瀬戸の花嫁」や「水戸黄門」のリズムに合わせた体操でスタート。続いて脳トレニング、昼食後はオセロやトランプを楽しそうにされていました。

ほかにもレクリエーションプログラムは大正琴、フラダンス、マジックショーなどがあります。参加者に楽しい時間を過ごしてほしいというスタッフの意気込みを感じました。

昼食は、地元のお店の「助六寿司」にスタッフの方が作った「お汁」。参加者は食事代と送迎運賃を負担します。昼食のあとは地元商店によるお惣菜の販売があり、参加者の方が喜んで選んでいる姿が印象的でした。

参加者の年齢は82歳から95歳、平均年齢は約90歳です。多い時は20名の参加があり、この日は15名が参加。楽しい一時を過ごせる「ひだまりカフェ」を、ぜひ一度あなたものぞいてみませんか。

追跡

あの時の質問
どうなってる？

過去の一般質問の追跡調査をおこない、進捗状況・結果を報告する。

Q 質 問(令和5年1月定例)

トラクタ、コンバインなどの大型農機具が倉庫に眠っている。農機具バンクの設立など活用の工夫をしてはどうか。

A 答 弁

休眠している農機具を見かけるため、空き家バンクのやり方を参考に農機具情報を掲示し活用できるよう検討している。

その後(農林課)

令和5年5月、吉備中央町農機具・農業資材バンクを新設した。実績として利用登録者数は7人、農機具登録者数は1人である。

譲渡者と譲受者がマッチングした実績がないため、引き続き、広報、町公式ホームページなどでPRをおこなっていく。



Q 質 問(令和4年6月定例)

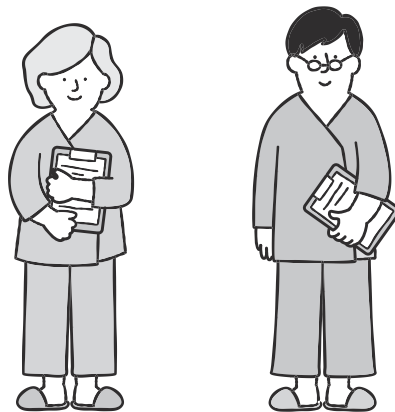
国民健康保険人間ドック助成の条件と対象者、金額を尋ねる。

A 答 弁

助成の条件として、吉備中央町国民健康保険の被保険者で、40歳から74歳までの方が対象。限度額は健診費用の2分の1以内で、令和4年度より8千円から1万円に変更。75歳以上の対象については、今後検討していく。

その後(保健課)

後期高齢者医療保険人間ドック助成を、令和5年度より実施。健診費用の2分の1以内で上限1万円。実績は、令和5年度69件、令和6年度82件である。



編集後記

稲刈りやぶどうの収穫でにぎわい、地域のお祭りも盛り上がる秋がやってきました。先日の8年ぶりに開催した「かかし祭り」に、町議会も出展し、たくさんの町民の皆さんと笑顔でふれあうことができました。とても良い時間となりました。議会としては、「読んでよかった」と思っただけのように紙面の構成内容を工夫してまいりますので、どうぞご意見やご感想をお寄せください。

平澤一浩



町の1コマだより

8月3日



津賀地区防災デイクャンプ

8月22日



大和地区健康の集い

8月24日



川合神社のだし

8月30日



鬼伝祭

9月6日



パパの子育て交流サロン

9月20日



てづくり柚子胡椒体験

9月23日



吉備リハオープンホスピタル

9月
23~29日



天満屋 吉備中央町フェア

9月7日

帰ってきた!
主基田の案山子まつり

